

標 題 : Influence of the Mediterranean Diet on the Risk of Cancers of the
Upper Aerodigestive Tract
上気道消化管のがんのリスクに対する地中海食事の影響

著 者 : C. Bosetti, et al. (イタリア ミラノ Istituto di Ricerche Farmacologiche
Mario Negri)

掲 載 誌 : Cancer Epidemiol. Biomarkers Prev. 2003 Oct; **12**(10): 1091-4

要 旨 :

地中海食事は上気道消化管のがんのリスクに対して有益な役割を果たすとの仮説を、イタリアで1992年と2000年の間に実施された3件の症例-対照研究からのデータを用いて評価する。

1番目の研究は、口腔および咽頭の組織学的に確認されたがんの発症例598件および急性の非腫瘍性病変で同じ病院ネットワークに入院した病院対照1491件を収録した。

2番目の研究は、食道の扁平上皮細胞がんの被験者304件および対照734件を収録した。

3番目の研究は、喉頭がんの症例460件および対照1088件を収録した。

地中海食事の主な8つの特徴を集約したスコアを使用した。

このスコア値の上昇についてオッズ比および対応する95%信頼区間(CI)を、年齢、性別、研究施設、教育の年数、喫煙、BMI、および総エネルギー摂取量を調整した条件なしの回帰モデルを使用して推計した。

検討した全てのがんで、地中海食事スコアの値の上昇でリスクの低下が見出された:地中海食事の特徴が6以上の被験者を特徴が3未満と比較すると、オッズ比は、口腔および咽頭で0.40(95%CI 0.26-0.62)、食道で0.26(95%CI 0.13-0.51)、そして喉頭では0.23(95%CI 0.13-0.40)であった。

推計の全ては、これらの腫瘍の確認された主な危険因子の階層と一致した。

地中海食事の複数の特徴を取入れて演繹的に定義した栄養パターンは、上気道消化管のがんのリスクに良く影響するという証拠を、この研究が提供する。
